

【第3編 資産運用 2-48】米ラッセル2000 指数とは(前編)

投資商品の判断基準 米国の小型株の指標とは

■ラッセル2000 の歴史

①1984 年に、米国コンサルティング会社のフラックラッセルカンパニー社
(現在のラッセル・インベストメント社) が開発した指標

②1986 年 12 月 31 日を基準値として算出し、このときの指数を 135 とした

③小型株の指標として考案された

→そのため、現在の米小型株ファンドのベンチマークになっている

■ラッセル2000 の特徴

①ニューヨーク証券取引所や NASDAQ に上場している 5000 以上の企業の中から、
選別されている

②浮動株調整後の時価総額加重平均型の株価指数である

③ラッセル2000 指数 (Russell 2000 Index) とは、
ラッセル3000 種指数の中の、2000 の比較的小型株で構成

④銘柄の入れ替えは、年に1 回行われている

⑤ラッセル2000 指数 (Russell 2000 Index) とは、
ラッセル3000 種指数の中の、2000 の比較的小型株で構成

→ちなみに時価総額の1-1000 の比較的大型株で構成されているのがラッセル1000

⑥ラッセル2000 は、ラッセル3000 の時価総額の約10%をカバーしている
またラッセル3000 は、米株市場の時価総額の95%をカバーしている

⑦ラッセル 2000 を見ると何がわかるのか！？

↓

1.大型株の株価推移を排除した市場動向を確認できる

2.暴落の先行指標となる

■なぜ暴落の先行指標となるのか？

- ・ラッセル 2000 からは、米中小企業の業績を把握した動きを示すことが多い
- ・大手企業と比べて、財務面が弱く、景気に左右されやすいという特徴がある
- ・大企業よりも大きく景気で打撃を受けてしまうと、

結果的にラッセル 1000 の大企業にも遅れて影響を及ぼすと言われ、

そうした側面でラッセル 2000 は判断材料の 1 つとして活用されている

■クイズ

ラッセル 2000 指数は、1986 年の 12 月 31 日を基準値として定めたが、その時に定めた指数から 2020 年 5 月 26 日現在までで、約どのくらい指数が上昇したか。

→答え：約 10 倍（135→1393.07）